

公益財団法人8020推進財団  
令和5年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：幼児期のう蝕罹患率の低下ならび乳歯列期から混合歯列期の口腔ケア及び  
かかりつけ歯科医受診勧奨を目的とした「しおり」や動画を含むWeb  
活用による啓発活動

2. 申請者名：一般社団法人横浜市歯科医師会 会長 吉田 直人

3. 実施組織：一般社団法人横浜市歯科医師会

4. 事業の概要：

1) しおり

横浜市においてう蝕罹患率は年々順調に減少しているものの、令和5年においても1.6歳～3歳児にかけてのう蝕罹患率が10倍に増加する傾向は未だ変わらない。

このことを注意喚起する「しおり」を都筑区では1.6歳児健診時に保護者に配布することによって、この「10倍増加」の認知が広がっている。

今回、都筑区だけでなく横浜市内の金沢区、保土ヶ谷区、泉区にも同様の「しおり」を制作し、乳幼児健診時に配布する。

2) 「教えてめばえちゃん」のアップデート

前回のアップデートでは、「乳幼児におけるおしゃぶり」「赤ちゃんのお口の中の病気」「急な外傷などの119番ナビ」等を掲載した。

今回は乳幼児期の「離乳」や「離乳食」についてのアップデート。

鶴見大学歯学部 小児歯科学 朝田芳信 教授の監修の下、「離乳の開始時期」や「月齢でなく歯の萌出状況を考慮しての離乳食の形状」などを掲載。

5. 事業の内容：

1) しおり（母子手帳サイズ：乳幼児歯科健診時、保護者の母子手帳に挟み込む）

表面：1.6歳～3歳児にかけて「う蝕罹患率」が10倍に増加することに対する注意喚起。

裏面：子供の歯の応援室「教えてめばえちゃん」の案内（QRコード表示）、各地区の乳幼児歯科健診実施医療機関 案内（QRコード表示）

2) ・「離乳」「離乳食について」

授乳について（哺乳や口腔機能発達、反射等についての基礎知識）

離乳について（離乳の開始時期の目安）

離乳食について（萌出状況と離乳食の関係、コップ、スプーンなどの使用法）

・口腔機能の話

お口の機能（食べる、飲み込む、話す、表情を作る）について

口腔機能発達不全症について

口腔機能発達不全症と口腔機能低下症の関係性について

6. 実施後の評価

しおりについては配布してすぐに効果が現れるものではなく、1.6歳児が3歳児健診を受診することで評価したいと考える。

「教えてめばえちゃん」のホームページはすでに少しずつ認知が上がってきている。

ホームページの内容をさらに充実させる（正確な情報を提供する）ことにより妊婦～乳幼児を持つ保護者にとって安心して、また助けとなるホームページになる。また「しおり」にも「教えてめばえちゃん」のQRコードを載せているためHPのアクセスが増加することが見込まれる。